

■ 競技上の注意 ■

第1回伊藤美誠杯卓球ワールドチャレンジ in NAGANO

審判長 百瀬 章広

2023年(令和5年)12月1日一部改定の日本卓球ルールを適用して実施する。

1. ボール・ラバー・ラケットについて

- ◎ ボールは、JTТА公認プラスチック球:ニッタクスリースタープレミアムクリーン40mmを使用する。
- ◎ ラケット本体に貼るラバーは、JTТАまたはITTFが公認したもので、公認を示すロゴが柄の最も近くになければならない。
- ◎ ラバーは接着剤を含む全体の厚さが2.0mmを超えないツブを外向きにしたラバーか、4.0mm以下のツブを内向きにしたサンドイッチラバー(ソフトラバー)で、ラバーの表面が平坦性を保っていなければならない。
- ◎ ラケット本体を覆っているラバーの表面、あるいは被覆されていない本体の表面は無光沢、片方は黒、他方は片方の黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色とする。
- ◎ ラケットはJTТАAの刻印及び商標、または指定業者の略称とJTТАAの連続刻印がなければならない。JTТАが未公認の外国製ラケットを使用する場合は、あらかじめ試合開始60分前までに審判長の許可(「ラケット使用許可願いを提出」)を受けてから使用すること。
- ◎ ゲーム中にラケットを誤って破損した場合は、競技領域に持込んであったスペアラケット、またはプレー領域内で手渡された「別のラケット」に交換しすぐにプレーを始めること。

2. サービスについて

- ◎ サービスはフリーハンドの手のひらを開き、自由に転がる状態でボールをのせ、静止させる。
- ◎ ボールがフリーハンドの手のひらから離れたあと、16cm以上上昇し打球される前になにもものにも触れず落下するようにボールに回転を与えることなく、ほぼ垂直に投げ上げ落ちてくる途中で打球しなければならない。
- ◎ サービス動作を始めてから打球するまでの間、ボールはプレーイングサーフェスよりも高い位置で、エンドラインより後ろになければならない。また、その間ボールをレシーバーから隠してはならない。
- ◎ ボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーアームとフリーハンドをボールと両サポートとの間の空間の外に出さなければならない。

3. 競技用服装・ゼッケン等について

- ◎ 競技服装(シャツ、ショーツ、スカート)はJTТАの公認マークが付いている物を着用すること。
- ◎ 同系色の服装による対戦を避けるため、競技用シャツは明らかに異なった色のものを2着以上持参すること。
- ◎ 対戦する競技者が、似かよった服装で、しかもお互いに服装を変えることに同意しない場合は、くじ(拳)により決定する。
- ◎ 競技服装以外に、スパッツ、ヘアバンド、リストバンド、サポーター等を着用できるが、メーカーロゴの表示がある場合は、日本卓球協会公認用具指定業者であれば、1箇所の表示のみ認められる。指定業者でない場合はロゴを隠せば使用できる。
- ◎ アンダーシャツの使用は許可されるが、競技服装から大きくはみ出さないこと。はみ出した場合、その部分に、メーカーの商標・ロゴが見えてはならない。
- ◎ ゼッケンは本大会専用のものを使用すること。

4. ラバーの接着行為について

- ◎ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして、JTTAが公認した接着剤のみを使用すること。

5. タイムアウト・アドバイスについて

- ◎ タイムアウト制は決勝トーナメントより適用する。
- ◎ ベンチには、1名にアドバイザーの資格が与えられる。
- ◎ アドバイスは、ゲーム間のみ1分以内とする。それ以外にアドバイスはできない。
- ◎ アドバイスは予選リーグより認める。

6. バッドマナーについて

- ◎ 競技者またはアドバイザーは、相手競技者に対し不当な影響を与えたり、観客に不快感を与えたり、ゲームの評判を落とすようなクセや態度(大声で叫び、汚い言葉を使う、相手選手を威嚇する、故意にボールを蹴ったり、競技領域外に打って出す、卓球台やフェンスを乱暴に扱う等)、そして無断のラケット交換、競技役員の指示を無視するなどを行った場合、バッドマナーとして判断される。
- ◎ 「スロープレイ」もバッドマナーと判断される。ポイントが決定した後は、すみやかに次のサービス体勢、あるいはレシーブ体勢をとり、みだりに時間を取るようなことなく、競技のスピードアップをはかること。

7. 促進ルールについて

- ◎ ゲーム開始後10分経過した時点で両方の競技者または組のポイントスコアの合計が18ポイントに達していない場合は、促進ルールが適用される。また、両方の競技者または組から要請があった場合も適用される。

8. 審判

- ◎ 予選リーグはそのコートの次に予定されている試合の選手が行う。
- ◎ 決勝トーナメントからは主管審判委員が審判を行う。

9. 幕、旗の掲示について

- ◎ 横幕の寸法は、縦1m×横4mを最大とし、文字の高さ15cm以上25cm以内のクラブ名(卓球部名)が入っているもの。旗は縦1.5m×横2m以内とし社章またはシンボルマークを中央に入れ、縦か横表示のクラブ名(卓球部名)が入っているもの。
- ◎ 縦幕は原則として認めない。

10. 一般注意事項

- ◎ プログラムのタイムテーブルで、競技日程・組合せ・試合予定時間・試合コートなどを確認して、コートの入場に遅れないこと。
- ◎ 進行の都合で、予定コートや開始時刻を変更することがあるので、放送や掲示板に注意すること。
(タイムテーブルより最大15分前より試合を行う場合があるので注意すること)
- ◎ フロア内での濡れ雑巾の使用は、一切禁止とする。
- ◎ 2階観覧席での飲食は可能。競技フロアでの水分補給は、フタ付きの容器のみ許可とする。
- ◎ 競技領域およびその近辺での携帯電話等通信機器は使用禁止とする。
- ◎ カメラ、ビデオ撮影等は、競技者自己の試合を撮影する目的のみ許可する。
個人情報などの観点から、事前に報道申請を行った業者以外は、SNS上へのアップなどは禁止とする。
- ◎ 競技中に起こったケガ、事故については応急処置を行うが、そのほかは一切の責任を負わない。
- ◎ 貴重品については、各自で管理すること。万一、盗難などの被害にあっても一切責任を負わない。
- ◎ 喫煙は、所定の場所を利用すること。持ち込んだゴミ類は、持ち帰ること。

以上